

行政改革に「役所の働き方改革」は必須！

★**前提**：市役所の職場環境改善は、行政サービスの向上につながる（市民生活をより良いものにするために根幹を改善していく必要がある）

(1)市役所の働き方改革について

◆**理想**：職員が各々の能力を発揮できる職場環境の整備（⇒行政サービスの質が向上）

◆**現状**：市役所の組織としての目的等が明瞭に共有できていない／離職率上昇傾向／時代に合った組織論や仕組、マインドの不足

◆**提案**：組織の目的の明確化及び認識の共有(M

VVなどの活用)／職場内エンゲージメントサーベイの実施／タレントマネジメントシステムの活用／ハラスメント対策の見直し

(2)市役所のデジタルによる業務効率化について

◆**前提**：デジタル化を進める理由⇒①機械ができる仕事は機械に任せ、より人間がすべき仕事に集中し、質を上げるため。②急速な技術の発展にこれ以上乗り遅れないため。

◆**現状**：職員内でデジタルの活用を望む声が増えている／AI-ODRは活用しているが、生成AI

無会派(日本維新の会)

寺嶋 たけし



はまだ研究中／GovTech東京は活用に向けて研究中／デジタル化を進めるためにセミナーや勉強会でマインドを醸成させている最中

◆**提案**：研究も大切だが、デジタルの活用は遅れるとハードルがますます上がる。しっかりと時代の流れに食らいついてほしい。※新庁舎移転時に大きな転換を予定しているとのこと

脱プラと断熱で「グリーンな国分寺」へ

①「**気候正義**」の視点でゼロカーボンシティへ

Q. 今夏は観測史上、最も暑い夏となり、気候危機対策が急務。CO₂を出すエネルギーではなく、市が率先して**再エネ100%**にするべき。

A. 効果や費用を検討し方向性を考えていく。

Q. 低コストで快適に過ごせるうえ、CO₂削減にもつながる取り組みとして「**断熱**」が注目されている。特に学校での光熱費が年々上昇しているため、子どものために学校の断熱化を。

A. 増築工事中の三小、七小、十小では、断熱

効果を高める仕様になっている。今後も改修時には断熱化できるよう検討を進める。

②**脱プラスチックへの取り組みを!**

Q. 日本のプラスチックの量はアメリカに次いで世界第2位。一人当たり年間32kg捨てている。

市は来年度から**プラごみ袋の有料化**を実施予定だが、量り売り、ばら売りをしているお店を応援する制度やリユース容器を使う取り組みを。

A. 民間サービスを研究し、リユース容器を使ったイベントを啓発していきたい。

無会派(グリーンな国分寺)

鈴木 ちひろ



Q. プラごみ削減のためには、ペットボトルも減らすべき。マイボトルの啓発とともに、補充できる給水スポット(マイボトル用ウォーターサーバー)を増やしてほしい。

A. 設置に課題はあるが他市の状況も研究する。

★その他「エネルギー貧困」への支援の拡充やみどりを大切にするまちづくりを求めました。

地球温暖化対策にグリーンインフラと断熱を

■**物価高騰が続く中**、コロナ下の特例措置が終了、貸付の償還が始まる等、市民生活は厳しい。国保税やプラスチック廃棄物等の市民負担を検討中だが、**生活困窮世帯への影響を見極めるべき**⇒生活困窮世帯には物価高騰に伴う支援給付金を実施。庁内関係部署等と情報共有する。

■**生物多様性地域戦略**は、動植物の生息や生育空間の拡大に資する樹木や草地を広げることを視野に、**コンクリートを土に戻す方針**⇒グリーンインフラの考えに合致する。施設整備やま

ちづくりに重要■**断熱は省エネ、健康面から重要**。住宅の断熱効果や補助金情報が得られる市民対象の**断熱ワークショップ**⇒本市の温室効果ガス排出量の半分以上は家庭部門。各種補助事業を周知し、啓発の一環として断熱ワークショップを研究■**気候変動や高齢者人口の増加**をふまえ、**効果的な熱中症対策**⇒ハイリスクな高齢者を抽出し、早い時期から訪問し注意喚起するよう見直す■**登下校時に体調崩す児童**がいる。熱中症になるリスクを取り除き、**安全に過**

国分寺・生活者ネットワーク

高瀬 かおる



ごせる教育⇒発達段階をふまえ、自分で自分の身を守る力をしっかりと育てていく■**障害者日中一時支援**は、介護者の疾病や一時的な休息等に使える重要な事業。**充実**⇒児童の利用が増加。安全で効果的な内容へ工夫。ニーズや事業所の現状等も分析し利用しやすい事業へ考える■**PFASの市独自検査に「PFHxS」を追加**し都との比較を⇒実施すべき項目と考え検討中。

補聴器の普及 公共施設トイレに生理用品を

≪**地下水PFAS汚染への対策強化を**≫

問) 国分寺市が積極的に専門家や医療機関と連携して希望する市民への血液検査を実施できるように取り組むべき。

答) 市が血液検査を実施したとしても、その後の対応などが明確でない中では、市として血液検査の実施には踏み切れない。

※**医療機関で検査後の対応**もしている。専門家や医療機関と自治体が連携して、**検査体制の構築**に市としても全力をあげるべき。また横

田基地への立入調査を要請するよう求めた。

≪**補聴器の普及に向けた支援制度を**≫

問) 港区の取り組みを参考に、加齢性難聴の早期発見・早期受診から、補聴器購入補助とその後のサポート体制まで、支援体制の構築を求める。

答) 補聴器を使い続けるためには様々な調整が必要であり、専門医や補聴器メーカーの専門家等と継続的な関わりが必要。どのような仕組みが必要なのか、引き続き研究する。

※**国分寺市でも早期に実現**できるよう求める。

無会派(日本共産党国分寺市議団)

中山 こう



≪**公共施設のトイレに生理用品の設置を**≫

問) 民間事業者と連携したトイレ個室への設置が広がっている。国分寺市でも設置を求める。

答) 導入している他団体の状況等の情報収集に努めて、可能性については探していきたい。

※**国民健康保険税の値上げストップ**、**介護保険料の引下げ**、**学校給食の完全無償化**・一部無償化など求めた。

子育て環境の充実に向けて

第2子保育料無償化(認可外保育園の対応)

尾沢：現在、認可保育所等の保育料は3歳から5歳までと2歳までの子どもで住民税非課税世帯が国の無償化の対象です。都が国の無償化に上乗せする形で3人目以降については全額無償化、2人目については半額負担としている状況です。今後、これまで負担があった2歳までの子どもの保育料のうち2人目についても無償化する方針です。

一方で、認可を受けずに運営している認可外保

育施設に通っている子どももいます。現在も一定の補助をおこなっていますが、認可保育園と認可外保育園(特に認証保育所)に通う保護者の負担金額の差をできる限り少なくして市民が状況にあった保育園を今後も選択できる、しやすい環境を維持していくべきと考えますが、市の見解を求めます。

答) 認可外保育施設に通う子どもの保護者に対する支援についての対応につきましては各自自治体で対象者や助成金額、対象施設が異なっ

自由民主党国分寺

尾沢 しゅう



いる状況です。他市の実施状況といただいた意見を踏まえて本市における認可外保育施設に通う子どもの保護者に対する支援について検討していきます。

その他に以下の質問をおこないました。

現庁舎用地の利活用、エスコートゾーン、夏休みの宿題、医療用ウィッグ等の助成、オープンデータ、都市計画道路について。